

事業仕分け 一般公開で実施せよ

答弁：現制度の定着に全力



大西 勇 議員

大西 内部だけの事業評価では限界がある。外部の評価委員と担当者で事業の必要性や改善点など吟味し、事業の仕分けを公開の場で実施することが必要。公開する

事によって職員の仕事への目的が明確になり、意識改革、レベルアップにつながる。

町長 目的を達成すべき必要性がある時は実施すべきだが、21年度までは現在の評価システムの定着化に全力を傾注したい。

廃食油の燃料化を
答弁：さらに研究をする

大西 廃食油は全国で年間約47万トン発生し、回

収量は約20万トンとわれている。あとの量はごみとして捨てたり、下水等に流している。新宮町は業者と連携して廃油燃料を活用している。約121円程度。本町でも研究の必要がある。

生活環境課長 本町では年間約168トン発生、約80トンがゴミとなつていて、ぜひやっていかなければならない。さらに研究する。

総務課長 専門的知識、技術が必要とするような分野まで及ぶことは大事だが町が担当するのが妥当かどうかだ。



▲廃食用油リサイクルシステム図



▲シルバー大学の講習会の様子

人材育成 協働大学等の開学を

答弁：取り組んでいく



堤 久美子 議員

堤 宗像市は大学と連携して住民（協働）大学を開設している。志免町は大学はないが、豊富な人材を講師に招いて、一般教養、専門知識を身に付ける講座を開設して欲しい。

町長 私どもの環境の中で、専門的な知識を勉強し、右腕になっていただける方がたくさんいることはまちづくりに非常に有意義で、個性豊かで活力に満ちた地域社会が展開できる。

町長 取り組んでいく。

条例の制定 男女共同参画社会を

答弁：条件整備まだ不十分



二宮 美津代 議員

二宮 平成8年からこれ迄何度も提言した条例制定に、町長は何を逡巡されるのか。行政として都合が悪いのか。条例化し総合的施策とすべきでは。町長 男女共同参画は非常に重要な案件であると

認識している。条例制定を否むものではないが、町民の意識が醸成されていない不十分な中で拙速にならずともよいと思う。第5次総合計画策定（平成23年）後検討したい。

団塊世代のニーズ調査
答弁：ぜひやりたい

二宮 シニア世代の男性が定年後の地域活動にどういう意識をおもちか、アンケートをとる考えは。

町長 長い間培ってきた貴重な経験や技術、知恵を今の時代に生かしてもらうすべはないか、どのようなニーズがあるのかぜひ調査し、人材発掘にもつなげたい。

（その他の質問）
●小型貯水槽の管理。その実態把握と情報の提供



▲男女共同参画による「まちづくり事業」についての講習会風景



▲後期高齢者医療保険証

感染症対策 新型インフルエンザ

答弁：ガイドラインで対応



末藤 省三 議員

末藤 鳥インフルエンザH5N1型の人への感染が相次いでおり、人から人へ感染する新型インフルエンザが大流行した場合2,500万人が医療機関で受診、健康課、学校

教育課、子育て支援課の対策をどう考えているか。健康課長 今年度よりフェーズ4の対応が国から示され県や保健所での体制づくりをすすめて、住民に感染症が拡大しないよう対策をとっていきたい。

後期高齢医療廃止せよ
答弁：制度の制定が必要
町長 医療制度を制定しなければならなかった背景を考えなければならぬ。